



ひゅ〜ら ~Human Love~

日常生活での性的少数者への気づきについて
～理解の輪を広げるためには～

LGBTなど、性的少数者を指す言葉が世に広まってきて数年経ちました。最近では、テレビなどでのゲイやトランスジェンダーなどの取り上げ方が変わってきたように思います。

【テレビなどでの取り上げられ方とその影響】

今から30年ほど前は、いわゆる“オカマキャラ”やゲイをネタにしたコントなど、性的少数者を特別視したり揶揄したりするテレビ番組もありました。当事者の中には、その影響で周囲から好奇の目に晒されたり、からかわれたりなど、不快な思いをした方もいたかもしれません。

しかし最近では、ドラマなどでも性的少数者を特別視することなく取り上げるようになり、世間の認識なども変わってきたように感じます。

【田舎のまちでも理解を進めていくには】

一方、田舎では、都会に比べて古い考え方の人も多いなどの理由から、性的少数者への理解が進んでいない現状もあると感じています。ま

た当事者も、コミュニティが狭いため、同じ境遇の人を見つけにくい、噂が広まりやすいため周囲に打ち明けにくいなどの悩みを抱えているかもしれません。

田舎でも性的少数者への理解を深めるには、私たちがLGBTなどを学ぶ講演会へ参加する、新しい考え方を受け入れるなど、知見を広げ、多様な価値観を認め合うことが大切です。

【終わりに】

性のあり方が少数派であることは決して特別なことではなく個性です。もしかすると当事者に会っていて、気づかずに相手を傷つけたことがあったかもしれません。一人ひとりが性的少数者への理解を深めて、当事者に寄り添えるまちにしていきたいですね。

網走市男女共同参画プラン推進会議編集委員